



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いきき 自分から~

平成30年9月28日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.7

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

秋の気配と感謝の心

あの暑かった夏の日はどこへ行ったのでしょうか。めっきり涼しくなり、一気に秋の気配が深まってきました。先日5年生の稲刈りのため、あぜ道を歩いていますと、彼岸花が今にも咲きそうに花芽を膨らませていました。彼岸花はお彼岸の時季になると田んぼの周りなどでよく見られますが、彼岸花の特性がミミズやモグラによる害から「あぜ」を守っているという話も聞いたことがあります。しかも、きれいに手入れ（草刈り）がされていないと、美しく咲かないのだとか…。思い返せば、春の田植えの時期からずっと、



【 あぜ道の彼岸花 】

夏の間も秋になっても、常に草刈り機の音がしていたなあと思います。今はあぜ道に鮮やかな赤い彼岸花が列をなして咲いており、この季節らしい風景を見ることが出来ます。同時に、いつも大切にされている田んぼや畑をお借りして、田植えや稲刈の体験、農作物の収穫など豊かな自然を活かして学習できていることを、とてもありがたく思います。

9月17日（月・祝）には、「岡田上地区敬老会」「岡田下地区敬老会」が開催されました。日ごろ優しく見守ってくださるおじいさん・おばあさんに感謝の気持ちを伝えようと、全校児童がプレゼント準備をし、歌や作文発表の練習を積み重ねてきました。少し緊張した面持ちで発表に臨んだ子どもたちでしたが、精一杯の歌声を届けることができたのではないのでしょうか。（岡田中地区では、岡田中祭りが中止になり残念でした。）発表の最中、敬老席でずっとうつむいて手を顔に当てておられる方があり、「体調を悪くされたのか？」と心配しましたが、その後は普通にされていたので安心しました。でも、後日その方にお出会ったとき「子どもたちの歌が聞けてとてもよかった。感激して涙が止まりませんでした。」と言っておられました。あの時は顔を覆って泣いておられたのだと分かりました。地域の方々の思いを理解しながら全力でがんばる姿を見ることがどれほど大切なことか、とても貴重な経験になっていると思います。敬老会に参加させていただき感謝申し上げます。いただいたお手紙の中から1つご紹介します。

暑い暑い夏がやっと過ぎ去り秋らしくなってまいりました。でもまたひきかえり近くに夏がうろろして、暑い日が戻ってくるかもしれません。自然界は少しづつ秋になっているのかもしれませんが、地球温暖化のせいですが、自然の責任ではなく人間の仕業かもしれませんね。敬老会には素晴らしい合唱 斉唱をお聞かせいただき大変うれしく若かった日を思い出しながら胸いっぱい、涙が出ました。岡田上小学校の「校歌」、中学校の合唱部のみなさんとの「ふるさと」の合唱ではハーモニーがすばらしくまたまた涙が出てきました。腰が曲がって下の世界を眺めて暮らしている毎日ですが、天気の良い日に野草の上に大の字にねそべって、みなさんのように大きな声で独唱したい気持ちになりました。涼しくなりましたから腰を伸ばして歌ってみたい心境です。楽しい素敵なひと時をありがとうございました。みなさんから元気の大きなパワーをいただきました。今日から昨日とは違って変わって、命のある限りがんばって私のつとめを果たしたいと思っています。それに、かわいいプレゼントをありがとうございました。大切に宝物にします。もうすぐ運動会もあるでしょう。持つ力を存分に発揮してがんばって下さい。大変うれしかったのでお礼のお手紙を書きました。ありがとうございました。元気でがんばって下さい。

10月は運動会を開催します。保護者・地域の方々にがんばっている姿を見せようと、各学年の持ち味を活かして、毎日練習に取り組んでいます。感謝の心をしっかり持ち、自分の力を精一杯発揮しながら、それぞれの心に残る運動会にしてほしいと願っています。ぜひ、子どもたちの活躍にご声援をお願いいたします。



小中一貫で子どもを育てる..⑥ 授業研究の活動充実」

加佐中学校区では、それぞれの学校の授業実践を見せ合い、授業改善の研究を深めています。10月は1年生、11月には6年生が、各校の教師に向けて授業を公開、児童・生徒にとってよりよい授業のあり方を研究し、分かりやすく楽しい授業を目指しています。



校長 波多野 暢 教職員一同

